

ヘルスケア関連グループとして、その特性を活かして健康で豊かな社会づくりに向けた社会貢献活動を展開するべく、産官学連携や若手研究者の研究奨励、あるいは社会全体で医療や健康を考える交流の場の提供等に取り組む。

戦略的フィランソロピー活動の選定

戦略的フィランソロピー活動を体現するにあたり、従業員から募集したアイデアを踏まえ、約100のNPO活動の中から約40の活動を選定しました。4つのCSR活動領域に合わせ、具体的な内容を紹介しています。2018年7月に発生した西日本豪雨災害においても、有志によるボランティアを実施しました。また、日本各地で開催されるボランティア活動への参加者の自己負担を減らしたいとの思いから、「ボランティア活動交通費補助規程」を策定しました。遠方での活動を対象にし、従業員本人に加え同居の家族も対象とし、一部交通費を補助しています。このような取り組みから、外部のNPO、グループの従業員と双方向のコミュニケーションを図り、多様な活動の機会と貢献の場を創出しています。

主な活動事例

健康で豊かな社会 小児難病患者・家族の支援

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンと連携し入院小児患者のご家族の宿泊施設の支援に取り組んでいます。主に清掃や物資の寄附を行っています。



(2018年6月 せたがやハウス)

人材 ダイバーシティへの取り組み

一般社団法人Hand Stamp Art Projectと連携し、障がい者と健常者のスタンプアートを共作するなど、ダイバーシティの考え方を学ぶ機会を提供しています。また、夏祭りでのブース出展も行っています。



(2018年7月 八王子事業所)



本レポートの表紙にも作品を掲載しています。

環境 「身近な水環境の一斉調査」への参加

エスアールエルのISO14001取得を契機として、八王子ラボ近隣の河川にて行われる「身近な水環境の一斉調査」に、2005年から10年以上継続的に参加しています。2018年度からは、新たにグループ全体から参加者を募り、14回目の活動を実施しました。



(2018年6月 多摩川流域)

地域社会 開発途上国支援プログラムの導入

先進国の飽食と開発途上国の飢餓の同時解決を目指す社会貢献運動となるTABLE FOR TWOプログラムを、八王子事業所の食堂などにて導入しました。ヘルシーメニューを対象とした食事1食につき、20円の寄付金が開発途上国の子どもたちに給食として届けられます。



(2018年6月 八王子事業所)

持続的成長のためのCSR活動

公益信託基金を通じた医療貢献

エスアールエルおよび富士レピオでは、若手研究者の研究奨励と医学の進歩・医療技術の高度化に寄与することを目的とした「公益信託臨床検査医学研究振興基金」の運営を、30年にわたり続けています。取引先でない病院や研究者も対象として、業界全体の底上げを目指しています。

また、「藤田光一郎賞」「小酒井望賞」を設け、臨床検査業界に長年功績のあった方に対する表彰も行っています。

この活動を通して、地域、日本の医療の進歩をうながし、世界の健康を支えていきます。



授賞式 (2017年2月 東京會館 LEVEL XXI)

表彰カテゴリー	開始年度	対象数 / 受賞者数	支援金額 (単位:円)
研究助成金	1981年度 (昭和56年度)	306	224,800,000
藤田光一郎賞	2003年度 (平成15年度)	15	7,500,000
小酒井望賞	1990年度 (平成2年度)	29	14,500,000

※2019年3月31日時点

ルミパルス® 1200が国立科学博物館の産業技術史資料データベースに登録

国立科学博物館の研究活動である産業技術史資料データベースに、ルミパルス®1200が登録されました。

ルミパルス®1200は、初の純国産全自動化学発光酵素免疫測定システムであったことに加え、その迅速性や技術力が高く評価され、登録に至りました。



ルミパルス®1200

新興国の医療意識向上への貢献

中国では毎年30万名が肝臓がんと診断されています。富士レピオでは、中国での肝臓がんの早期発見に寄与すべく、病院での院内セミナーや関連学会において、製品およびHBV/肝臓がんの診断と検診に関する日本の取り組みを紹介しています。

日本の臨床現場に広く普及している標準的な肝臓診療を、中国での新しいソリューションとして浸透させていくことを目指しています。参加されている臨床医の医師の皆さまと、ガイドラインを作成するところからともに行っています。また、2017年度からは、新たな取り組みとして、肺がんについても同様のアプローチ

を行っています。今後は、対象の地域を広げていき、みらかグループが持つ知見を最大限に発揮して地域の医療意識の向上を図っていきます。

中国全土での
セミナー実施回数
延べ**100**回
以上
2018年度実績

骨髄バンク事業およびアイバンク事業への協力

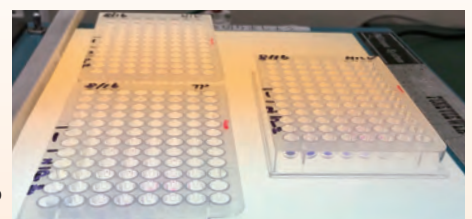
エスアールエルでは、これまで培ってきた技術や知識を最大限に活かした社会の健康増進への取り組みを進めています。その一つとして骨髄バンク事業、アイバンク事業への協力を行っています。専門チームを設け、それぞれ、700件/月、50件/月を受託しています。具体的な協力内容として、採血資材をまとめて提供することに加え、HLA(ヒト白血球抗原)検査や感染症検査のデータをお返す

ことで、健康で豊かな社会に貢献しています。

骨髄バンク事業
8,000件
以上/年



骨髄バンク
提供資材一式



アイバンクの
検査キット

TOPICS | グループ会社での取り組み

㈱日本医学臨床検査研究所

生協様とのAICS受診促進で組合員様の健康づくりに貢献！

販路拡大策を踏まえた地域連携

関西や山陰地方で受託臨床検査事業を手掛ける日本医学臨床検査研究所では、医療機関への参加勧奨と生協からの検査受託(医療機関から検体回収しSRLへ検査再委託)を実施。生協にとっては、組合員サポートの一環で、受診後診療メリットを訴求することができます。



㈱北信臨床

がんの啓発イベントへの参加

がん分野のチャリティ

長野県全域で受託臨床検査事業を手掛ける北信臨床では、長野県健康福祉部と「がんと向き合う週間」の協力連携協定を締結しました。

本協定を踏まえ、秋に県内約7か所の主要地自治体でがん健診に関する街頭での啓発グッズ配布活動を実施しました。



日本ステリ㈱

小児入院患者向けプラネタリウムプログラムの提供

カスタマーリレーション

一般社団法人星つむぎの村のプラネタリウムプログラムを病院の入院患者向けに提供しています。滞在している環境や病気によって、本物の星空を見ることができない患者さまや関係者の方々に、星空や宇宙をお届けすることをサポートしています。



ケアレックス㈱

不要になった車いすを途上国の福祉施設に寄贈

地元団体間連携の取組

介護福祉事業を手掛けるケアレックスでは、フィリピンのNGOを介して、NPO法人日本フィリピンボランティア協会を通じて、ケアレックス基準で使用不可となった車いすを、フィリピンのミンダナオ島に寄贈します。年に数回の寄贈を予定しています。

